

<調査1>

歯科診療所における 初診患者の実態調査 第4報(2009年)

Do Project; The Survey 1

Survey on New Patients Who Visit Dental Offices Report 4 (2009)

33 member's dental offices around Japan offer periodic dental care, maintaining computerized clinical records of all their patients. They compiled the actual health of 11,588 first time patients (4,853 male and 6,735 female) for one year from Jan.1 to Dec.31, 2008. DMFT of a 12-year-old child shows a consistent reduction from 2.35 in the first survey to 2.35, 1.08 and 1.55. But DMFT of junior and senior high school students shows a significant increase, especially in females. DMFT of the adult age group show a steady improvement year on year in adults between 20 and 24 years old, from 9.83 at the first survey to 26.8% to 40% and more. The Japan Health Care Dental Association have compiled clinical records from member's dental offices since 2006 and provided feed back from the results of the survey to dental professionals, society and clinical sites. This survey is one of them. *J Health Care Dent. 2009; 11: 71-78.*

藤木 省三 Shozo FUJIKI, DDS

歯科医師 Private Practice

大西 齒科

兵庫県神戸市灘区山田町 2-1-1

Ohnishi Dental Clinic

2-1-1, Yamada-cho, Nada-ku, Kobe,

Hyogo 657-0064, Japan

キーワード : survey on new patients
DMFT
hospital statistics
smoking

はじめに

この調査は、全国33の予防ケア・定期管理に熱心な歯科診療所の1年間(2008年1月1日から12月31日)の初診患者の実態を全数の集計により把握するものである。調査は、初めて診療所を受診したすべての患者の、口腔内疾患の状態、喫煙習慣などを把握するもので、患者動向調査であると同時に、歯科診療所を受診する患者に絞った歯科疾患の実態調査である。本調査は、フィールドではなく医療機関受診者の調査であるが、定期管理患者の対照となるほか、毎年詳細な調査を継続することにより、国民の口腔内状態の変化を知るうえで貴重な資料になるものと考えられる。

なお、日本ヘルスケア歯科研究会では、2006年から会員診療室の臨床データや臨床データを集積しその結果を公開することで医療制度、社会、臨床現場へフィードバックする「Doプロジェクト」を行っている。その調査の一

つであるこの初診患者実態調査も4年目を迎えることになった。今回は2008年1月1日から2008年12月31日までに来院した初診患者のデータを集計し報告する。

調査方法

1. 調査に参加する診療所としての 資格要件

- ①日本ヘルスケア歯科研究会会員の診療所であること
- ②初診患者の口腔内データとして、小児はDMF歯数、成人はDMF歯数、残存歯数、歯周病進行度、喫煙経験の記録があること
- ③資料をデジタルデータとして提出できること
- ④基本的に全員調査であること
(ただし、口腔内および問診事項の情報に欠落がある患者があってもよいこととした)。

Japan Health Care Dental Outcome Project (通称 Do プロジェクト) の目的と役割

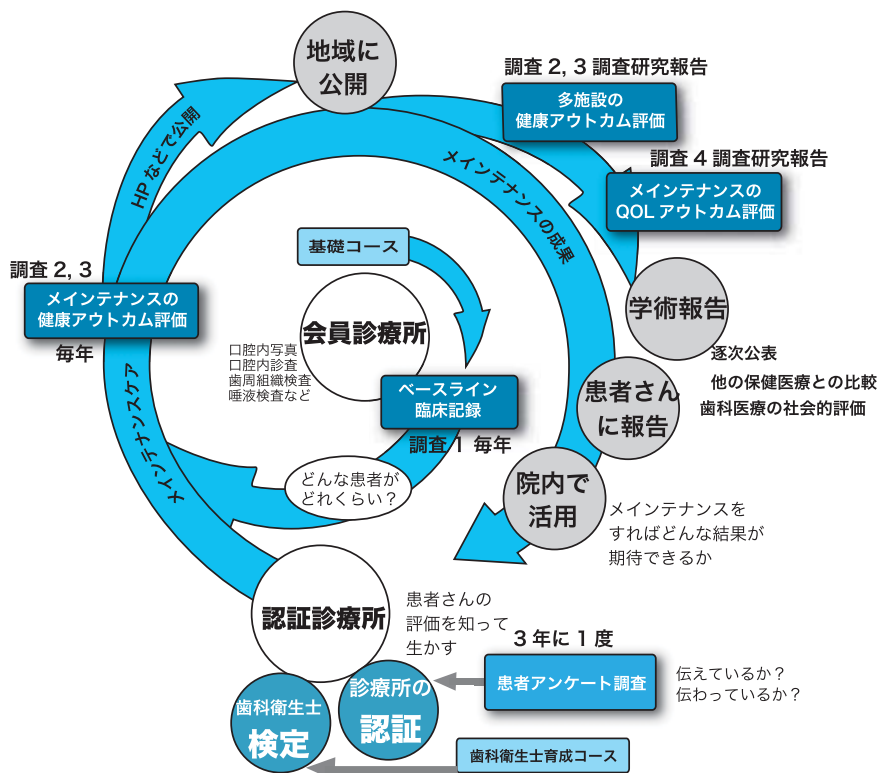


図 1

2. 調査データの回収・集計方法

上記の資格要件を満たす協力診療所を求めたところ、調査協力診療所は15都道府県の33診療所となった。昨年の報告(2007年初診患者調査)に比べて、4カ所の診療所が加わり、2カ所の診療所が抜けた。

この診療所に、調査データの回収用テンプレートを事務局から送付し、各診療所の患者データをコピーしたものを回収した。回収用テンプレートには患者氏名は含まない設計としているため、収集段階で資料は匿名化されている。さらに事務局で診療所名が特定できないように回収用テンプレートを匿名化したうえで調査者に送付され、調査者1名が集計作業を行った。

3. 調査対象患者

調査対象者は、各診療所を2008年1月1日から2008年12月31日までの1年間に受診した初診患者とした。この調査の初診患者とは、その診療室を全く初めて受診した患者を指す。各診療所から、匿名化した次項に示すデータを収集し、生年月日、性別、初診年月日および初診時年齢に不明や欠落のあるものを排除し、集計に用いた。

2008年の1年間に33カ所の診療所を受診した初診患者数は、合計11,588人(男性4,853人・41.8%、女性6,735人・58.1%、図2)で、1診療所平均351人であった。2007年に比べわずかに男性の比率(2007年男性42.9%)が低下し、1診療所平均はわずかに減少し(2007年354人)、総数は606人増加したが、地域・性別・

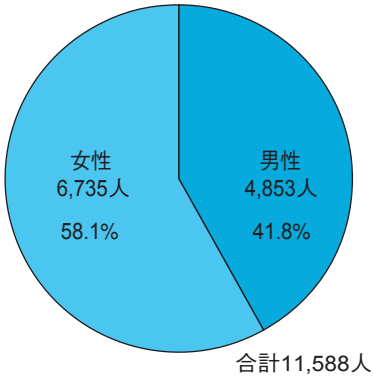


図2 初診患者の性別

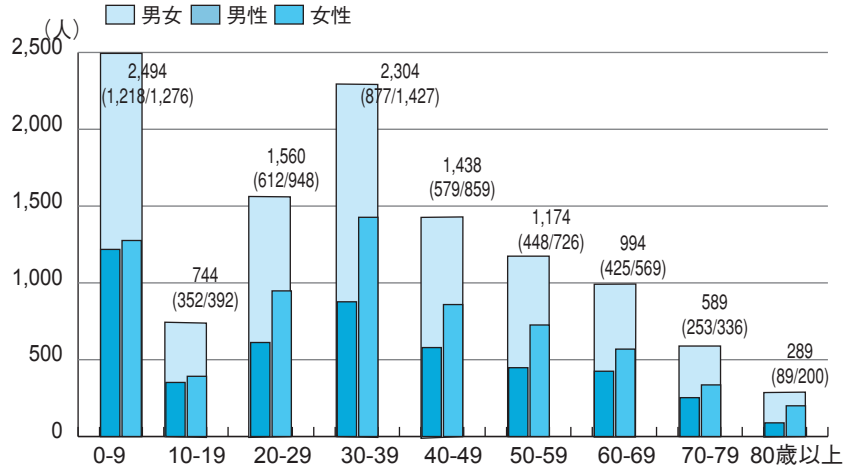


図3 初診患者数(年代別)

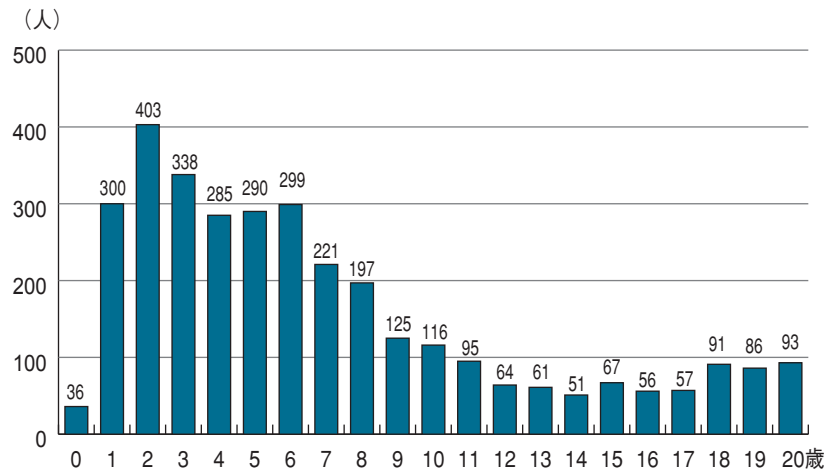


図4 年齢別初診患者数(0~20歳)

規模ともほぼ同じ集団を対象にしていると考えられる。

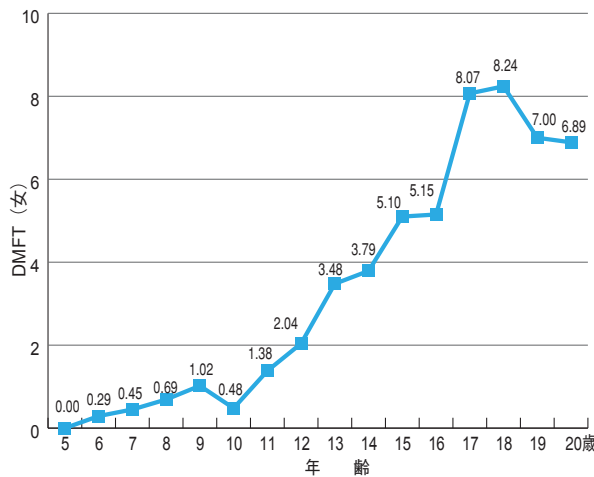
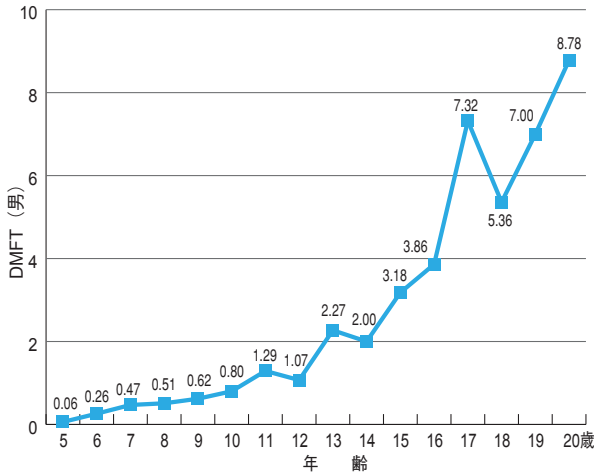
4. 調査項目

- ①生年月日
- ②性別
- ③初診年月日
- ④初診時年齢
- ⑤20歳未満はDMF歯数
- ⑥20歳以上は
 - ・DMF歯数
 - ・残存歯数(智歯を含めない)
 - ・歯周病進行度(日本ヘルスケア歯科研究会のプロトコールによる)
 - ・喫煙経験
 - ・喫煙開始年齢
 - ・現在の喫煙の有無
 - ・初診時における過去の喫煙総本数

結 果

初診患者の性別、年代別と20歳までの年齢別の初診患者数、10~70歳までの年齢別の初診患者数、10~70歳以上の年齢別(10歳区分)DMFT、5~20歳まで年齢別DMFT、20歳以上年齢階層別(5歳区分)残存歯数、年齢階層別歯周病進行度(全体、非喫煙者、喫煙経験者)、年齢階層別非喫煙者と喫煙経験者の割合について集計した。

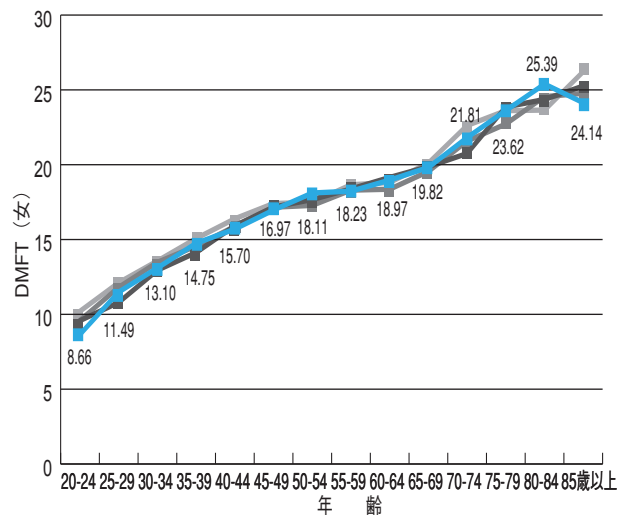
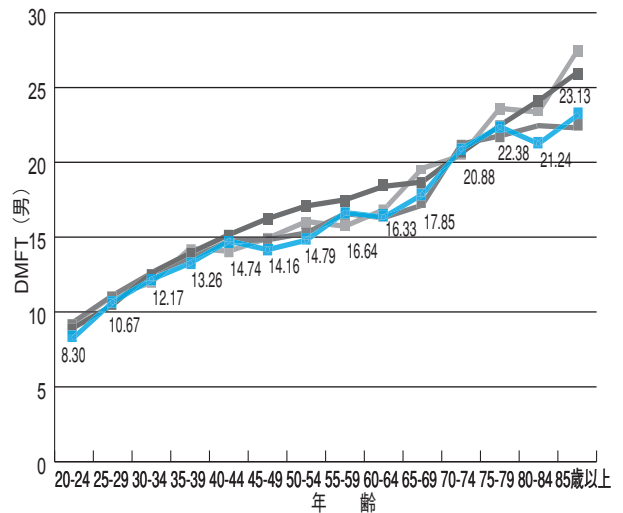
年齢分布は、これまでと全く同じで30歳代と10歳までの小児をピークにした構成で、すべての年齢区分で女性が多かった(図3)。20歳までの年齢別の初診患者数も、これまでと同様で、2歳をピークにして中高生をボトムにした形をなし(図4)、小学生までは男女の偏りはなく、13歳以降女性が多くなる傾向がみられた。年齢別DMFTをみると、12歳児で



5～20歳初診患者DMFT(2008年)

年齢	男		女	
	DMFT	人数	DMFT	人数
5歳	0.03	290	0.06	142
6歳	0.27	222	0.26	114
7歳	0.46	178	0.47	90
8歳	0.61	170	0.51	79
9歳	0.82	106	0.62	52
10歳	0.67	96	0.80	56
11歳	1.33	87	1.29	48
12歳	1.55	56	1.07	28
13歳	2.94	49	2.27	22
14歳	3.06	49	2.00	20
15歳	4.30	53	3.18	22
16歳	4.57	47	3.86	21
17歳	7.73	49	7.32	22
18歳	7.02	85	5.36	36
19歳	7.00	76	7.00	32
20歳	7.39	87	8.78	23

図5 初診患者のDMFT(5～20歳, 男女別)



20～85歳以上初診患者DMFT(2008年)

年齢	男		女	
	DMFT	人数	DMFT	人数
20-24歳	8.52	566	8.30	224
25-29歳	11.18	804	10.67	300
30-34歳	12.76	1,083	12.17	394
35-39歳	14.18	981	13.26	375
40-44歳	15.31	747	14.74	300
45-49歳	15.89	557	14.16	213
50-54歳	16.83	453	14.79	174
55-59歳	17.67	552	16.64	197
60-64歳	17.77	501	16.33	227
65-69歳	19.07	347	17.85	132
70-74歳	21.37	301	20.88	143
75-79歳	23.24	169	22.38	52
80-84歳	24.19	118	21.24	34
85歳以上	23.62	57	23.13	15

図6 初診患者の年齢階層別DMFT(20～85歳以上, 男女別)

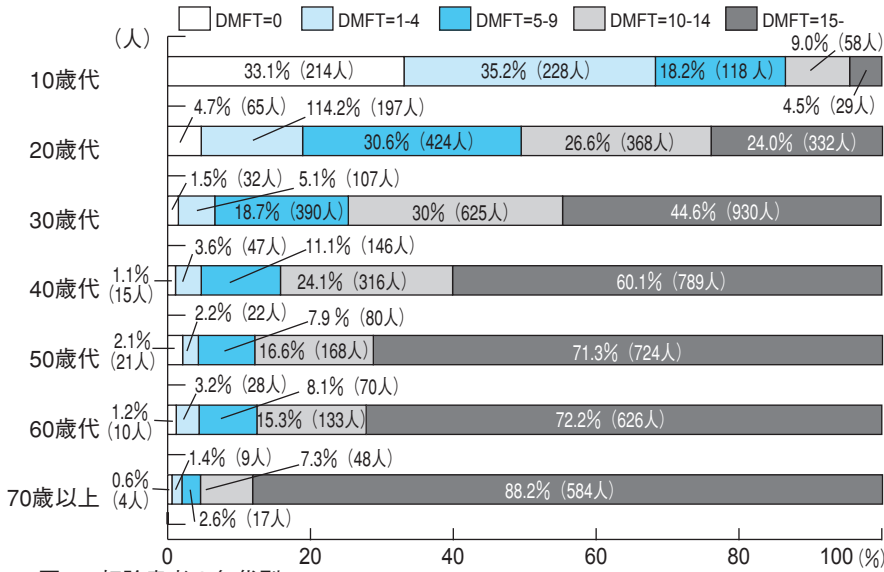


図7 初診患者の年代別DMFT

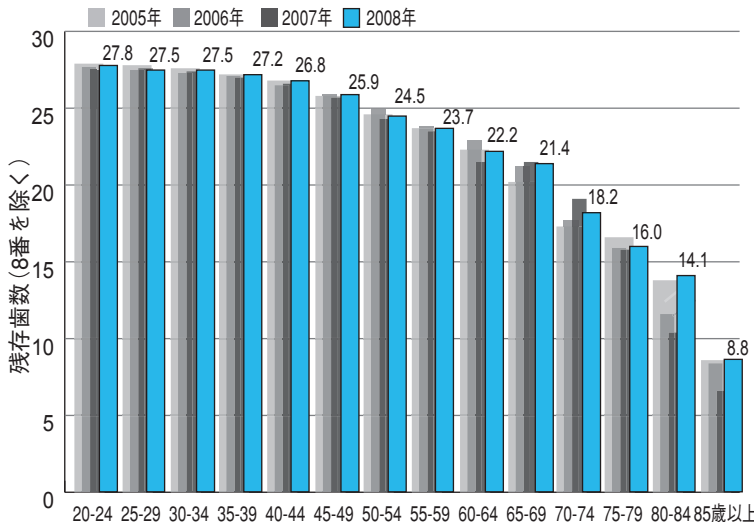


図8 初診患者の残存歯数(20～85歳以上)

20～85歳初診患者残存歯数(2008年)

年齢	男女		男性		女性	
	残存歯数	人数	残存歯数	人数	残存歯数	人数
20-24歳	27.8	566	27.8	224	27.7	342
25-29歳	27.5	804	27.7	300	27.5	504
30-34歳	27.5	1083	27.5	394	27.4	689
35-39歳	27.2	981	27.2	375	27.2	606
40-44歳	26.8	747	26.7	300	26.8	447
45-49歳	25.9	557	26.0	213	25.8	344
50-54歳	24.5	453	24.8	174	24.4	279
55-59歳	23.7	552	23.1	197	24.0	355
60-64歳	22.2	501	21.9	227	22.4	274
65-69歳	21.4	347	21.9	132	21.1	215
70-74歳	18.2	301	18.7	143	17.7	158
75-79歳	16.0	168	15.7	51	16.2	117
80-84歳	14.1	118	16.0	34	13.3	84
85歳以上	8.8	57	10.7	15	8.1	42

は調査初年の2005年以来、2.35, 1.68, 1.74, 1.55と順調に低下傾向を示しているが、中高校生のDMFT増加が顕著で、とくに女性のDMFT増加が目立つ。中学生以降の初診患者のDMFTは男女ともサンプル数が30人前後で少数の有病者に左右されやすくバラツキが大きいとはいえ、17歳女性を例にとると2005年以来6.80, 7.29, 6.41, 8.07と高い値を示し、まったく減少傾向を認めない(図5)。

成人の年齢階層別DMFTでは、20歳代前半が2005年以来9.82, 9.49, 8.96, 8.52と順調に改善傾向を示しているが、他の年齢階層ではこのよう

な傾向は認められない(図6)。

成人の年齢階層ごとの現在歯数(残存歯数)には変化はなかった(図8)。

喫煙経験者の割合の減少は、引き続き顕著である。30歳代前半男性は、現在喫煙者がこれまで40%以上あったが、一気に26.8%に減少した。十分なサンプル数があることから歯科診療所を受診する若い男性、とくに30代前半の現在喫煙者は急速に減少していると言ってよいだろう。また、55歳以上の女性はすべての年齢階層で現在喫煙者は10%を割った。

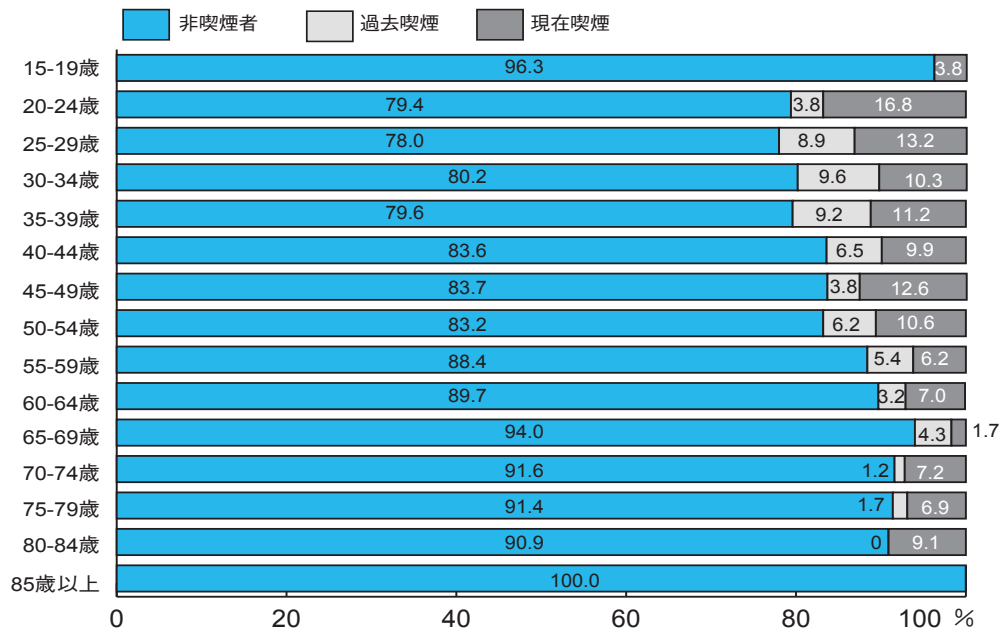


図8 非喫煙者・喫煙者率（女性）

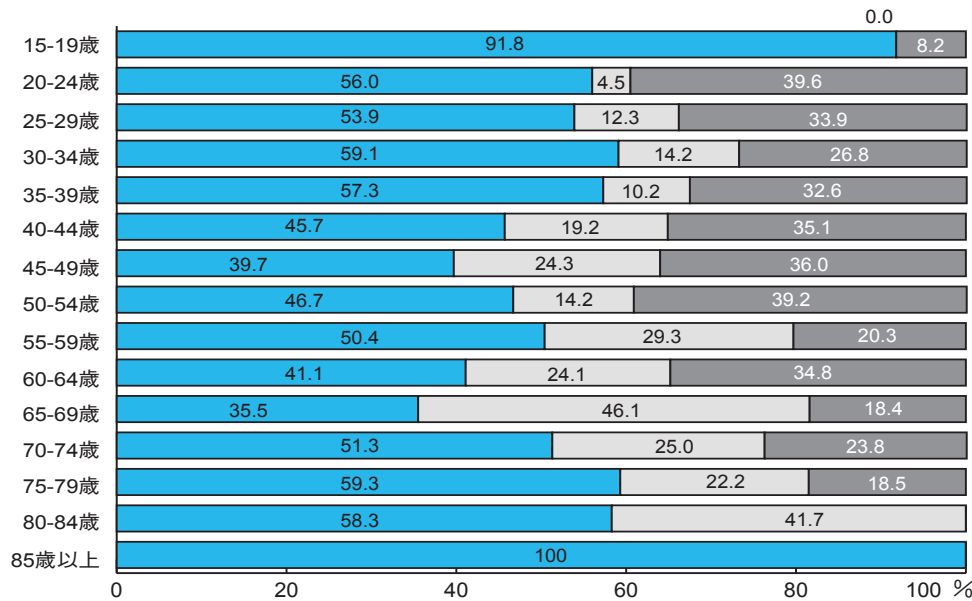


図9 非喫煙者・喫煙者率（男性）

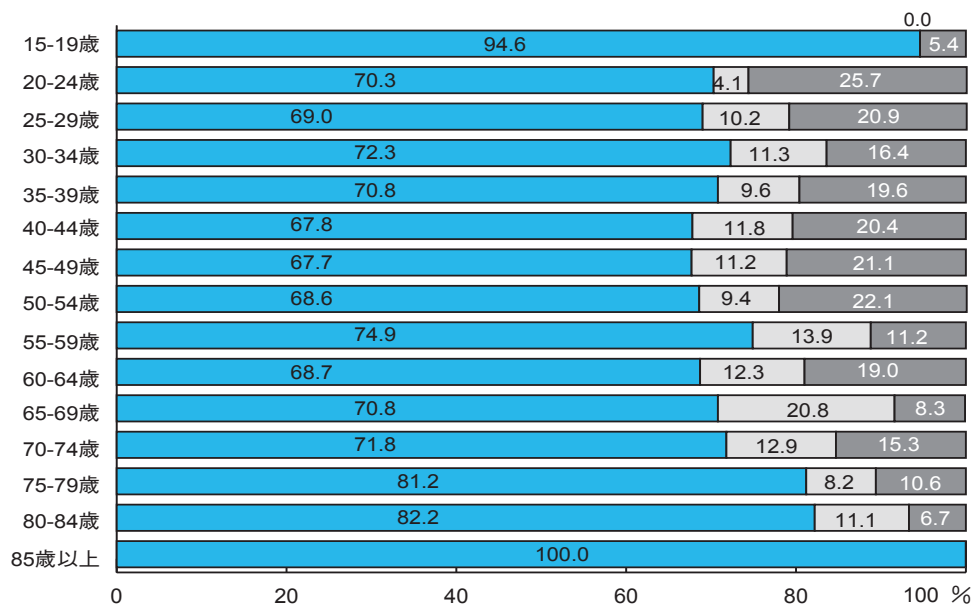


図10 非喫煙者、喫煙者率（全体）

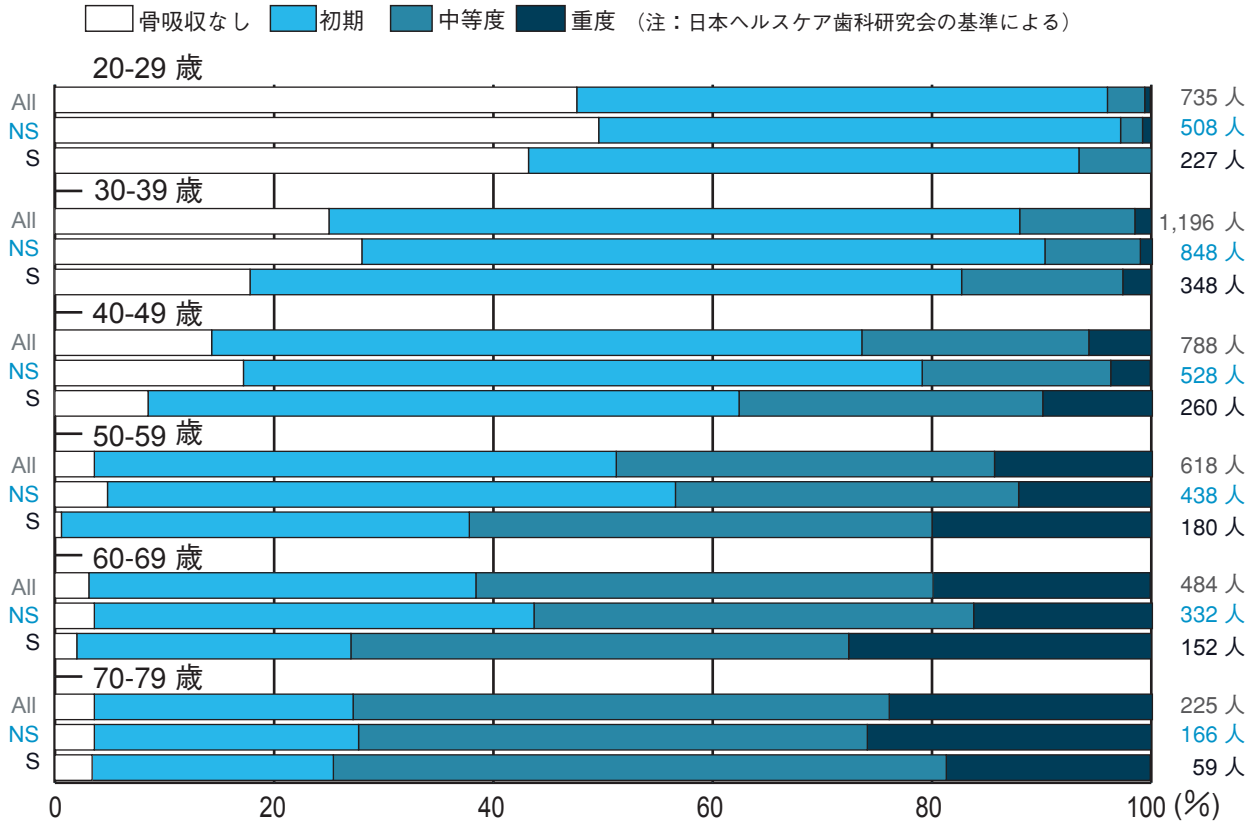


図11 喫煙と歯周病進行度(ALL;対象者全員, NS;非喫煙者, S=喫煙者)
(80歳以上は対象人数が少ないので省いている)

考 察

初診患者の5歳から20歳におけるDMFTに関しては、昨年と大きな違いはみられない。小学生までのう蝕の発生数は年々低下しているが、中高等学校でう蝕が急増する傾向も一段と顕著である。小学校高学年から女子のDMFTが男子を上回るが、中学高校生になると男女差はさらに拡大する。中高生になると受診者は極端に減少するので、数値にバラツキが大きいが、中高生のDMFTの改善傾向は認められない。

前々回から集計している初診患者の非喫煙、過去喫煙、現在喫煙のデータからは、このわずか3年の間に20歳から30歳代の禁煙が進んだことが明らかである。全体としては、女性に比較して男性に喫煙経験者が多いが、男性は昨年と比較して、20歳から30歳代でタバコを吸わない人の割合が増えている。最近の禁煙運動の高まりの影響が現れているのかも

しれない。禁煙、防煙教育の効果があるとすれば、私たち日本ヘルスケア歯科研究会の会員診療所で禁煙支援、防煙教育をさらに充実させていかなければならないだろう。

喫煙と歯周炎の進行度の相関は明らかであるが、喫煙と歯周炎の進行度の関連では、昨年と同じく50歳代までで違いが大きいという傾向がみられた。全データのうち、喫煙に関する項目が入力されているデータ数は少なく、受診者の全体像を推測するには不十分である。今後より多くの喫煙状況を知ることができる環境を整えていきたい。

日本ヘルスケア歯科研究会はこのような多施設の患者データをリアルタイムで収集することができる数少ない団体である。今後も継続して調査を続けていきたいと考えている。次回調査時にはより多くの診療室が参加されることを期待している。

(調査参加診療所一覧は次ページに掲載)

調査1参加の歯科診療所

医療施設名称（医療法人名は省略）		代表者
医社）熊澤歯科 熊澤歯科クリニック	北海道小樽市	上浦 庸司
さいとう歯科室	北海道札幌市	斉藤 仁
福田歯科医院	北海道函館市	福田 健二
医）加藤歯科医院	山形県東根市	加藤 徹
国井歯科医院	山形県山形市	国井 一好
征矢歯科医院	茨城県日立市	征矢 亘
医社）佑文会 つくばヘルスケア歯科クリニック	茨城県つくば市	千ヶ崎乙文
山口歯科医院	茨城県行方市	山口 將日
医社）佑文会 千ヶ崎歯科医院	茨城県行方市	三代 英知
うつぎざき歯科医院	茨城県水戸市	槍崎 慶二
医）鈴木歯科医院	埼玉県蓮田市	鈴木 正臣
田中歯科クリニック	埼玉県川口市	田中 正大
もりや歯科	埼玉県坂戸市	森谷 良行
医社）清泉会 杉山歯科医院	千葉県八千代市	杉山 精一
まさき歯科医院	千葉県習志野市	藪下 雅樹
河野歯科医院	東京都小平市	河野 正清
宇藤歯科医院	東京都町田市	宇藤 博文
小林歯科クリニック	東京都渋谷区	小林 誠
萩原歯科医院	東京都豊島区	萩原 眞
浦崎歯科医院	石川県金沢市	浦崎 裕之
わかば歯科医院	静岡県駿東郡	小野 義晃
菊地歯科	静岡県三島市	菊地 誠
伊藤歯科クリニック	大阪府茨木市	伊藤 中
おおくぼ歯科	大阪府堺市	大久保 篤
たかぎ歯科医院	兵庫県神戸市	高木 景子
てらだ歯科クリニック	兵庫県姫路市	寺田 昌平
大西歯科	兵庫県神戸市	藤木 省三
丸山歯科医院	兵庫県神戸市	丸山 和久
医）ワイエイオーラルヘルスセンター ワイエイデンタルクリニック	鳥取県米子市	足本 敦
倉敷医療生活協同組合 玉島歯科診療所	岡山県倉敷市	岡 恒雄
医社）健美会 竹下歯科医院	広島県広島市	竹下 哲
たかはし歯科	愛媛県南宇和郡	高橋 啓
浜口歯科医院	沖縄県那覇市	濱口 茂雄